

鶴宮園・ほたるの里入所者 梨狩りを体験



梨狩りを楽しむ入所者

梨狩り体験が8月13日（水）柏原の西原農園で行われ、当日は、アルテンハイム鶴宮園の入所者3人とパラディーノほたるの里の入所者3人、計6人が梨狩りを体験しました。参加した高齢者は、それぞれ黄色く色づいた梨を施設の職員に手伝ってもらいながらもぎ採り、用意されたビニール袋に詰めていました。梨の試食も行われ、参加者は、「甘くておいしい」と喜んでいました。西原さんは、化学肥料や除草剤を使わないため、トカラヤギを飼育され梨の栽培が行われています。この梨狩りは、毎年福祉施設の入所者を招待し、開催されています。



のこぎりで木を切る子供たち

紫尾小学校

木工教室を開催

紫尾小学校の木工教室が、8月27日（水）ダムふれあいパーク内の農林漁業体験実習館で行われました。これは、鹿児島県木材PR推進協議会の主催で行われ子供たちに木と触れ合うことを目的に開催されたもので、当日は3年生から6年生の27人が参加しました。はじめに木の切り方などを教わった後、実際に巣箱や、本棚、小物入れ、マガジンラックなどそれぞれ自分の気に入ったものを作りました。最初はのこぎりの使い方がうまくいかず手伝ってもらいながら作業を進めていましたが、最後にはりっぱな作品が完成しました。

町人権同和教育講演会 人権同和問題を再認識

鶴田町人権同和教育講演会が8月26日（火）「なくそう差別 築こう明るい社会」をテーマに中央公民館ホールで開催されました。

講演会では、講師に鹿児島県部落解放史研究委員尾寄一治先生による「にんげんらしく生きることを求めて」という演題で講演がありました。「同和問題は差別する人の問題。同和という言葉が差別になっている。」と結婚問題などいろいろな事例を挙げながら話されました。参加した約300人の町民の方々も改めて人権や同和について考えるよい機会になりました。



講演を行う尾寄先生

第5回

ふるさとづくり助成金交付式

ふるさとづくり助成金交付式が、7月29日（火）中央公民館で行われ、先に審査会で決定した交付対象者30人が出席しました。

交付式では、町長、議長のあいさつの後、対象者一人一人に助成金が手渡されました。

なお今回の支給内容は次のとおりです。転入奨励対策事業3件55万円、Uターン奨励対策事業3件120万円、産業振興対策事業12件160万円、ウェディングベル対策事業4件40万円、住宅取得対策事業6件220万円、出産祝金支給事業15件220万円、総額43件815万円が支給されました。



助成金を受ける関係者

鹿児島朱鷺

俳句会を開催

鹿児島朱鷺の俳句会が、7月27日（日）神子区コミュニティセンターで開催されました。当日は、俳句会に先立って大野宏さんが作られた神子の川ふれあい句集板の除幕式が行われました。その後、会場を移して参加者は思い思いに俳句をそれぞれ7句ずつくり、審査が行われました。優秀作は次のとおりです。



参加された方々

町長賞 夏蝶にまこと山河の広すぎる
外園夏盛（川辺町）
教育長賞 大鶴湖音たてて飛ぶ黒揚羽
瀬角龍平（垂水市）
鶴田鳩句会 清流を汚してごめん鳩浮巢
大野宏峰
町長賞 駄菓子屋と酒屋ある町赤とんぼ
外園千鶴

道の日 町内の主要道路を清掃

「道の日」清掃作業が、8月11日（月）町内の建設業者、町議会議員、役場職員により行われました。当初8月8日に計画されていましたが、台風の影響でこの日に行われました。

これは、8月10日が「道の日」として制定されていることから、全国各地で様々な行事が行われているもので、本町では、4班に分かれ、国道や県道等の草払いやごみ拾いをしました。

当日は、焼付くような日差しの中、参加者は汗びっしょりになりながら、1日かけて清掃作業を行いました。



草払いをする参加者